

# 税理士試験簿記論 日商簿記1級

# 合格

簿記会計分野の難関資格に二名が合格しました！

## 税理士試験簿記論



穂積中学出身会計科3年  
**前田 峻雅**

【参考】全国合格率14%

## 将来の夢は地元経済を支える 公認会計士！

税理士試験は私が高校生活で最後に受験する試験でした。だからこそ、**必ず合格したい、高校生活の全てをぶつけたいという思い**がありました。

しかし、税理士試験は今までの試験とは違い、職業がかかっている試験なので、不安も多くありました。そんな中、支えてくれたのは私が所属していた簿記部の部員や、顧問の先生です。部員は税理士の問題を一緒に解いたり、その解き方を教えてくれました。先生は、税理士試験の解き方のコツや勉強の仕方を教えてくれました。また先生と一緒に税理士試験を受けてくれました。一人だと心細かったので、本当に感謝しています。結果は、先生と一緒に合格でした。**合格するために多くの努力をしてきたので、とても嬉しかったです。**

今後は進学し、**地元経済を支えられる公認会計士を目指します。**周りの支えがあるから頑張れるという感謝の気持ちを忘れず、これからも精一杯努力していきます。

## 日商簿記1級



東安中学出身会計科3年  
**清王 理佐**

【参考】全国合格率9%

## 将来の夢は簿記の楽しさを伝えられる 高校教師！

私は、日商簿記検定1級に合格し、私でも取得できたことに驚いています。

中学三年生の冬、進路に悩む中、簿記を学ぶため商業高校に進学することを決意しました。入学後、日商1級取得を目標に簿記部に入部しました。ここでは簿記を学ぶと同時に、勉強の仕方も学びました。**私は勉強する時、なぜそうなるのか、理由を追求します。**計算式を覚えるのではなく、その計算式になる理由を理解するのです。そうすることで印象深く記憶することができました。間違えた問題は解説を見たり教科書に戻することで、**同じ間違いをすることを無くしていきました。**

私は今、**商業科の教員になるという夢**があります。高校時代の青春の大半の時間、簿記と向き合い、逃が出したい時もありましたが、それ以上の楽しさや魅力を感じてきました。それを次は、**私が伝えていきたい**と考えています。大学では1級の範囲を全て理解し教えることを見据えて学んでいきたいと考えています。